

致シマス

大正十年六月二十三日

藤永田造船所

然ルニ職工中ニ右協定退職人員以外此際手書ヲ受ケテ勇退スルヲ得策ナ
リトシ退職セントスルモノ不尠其四日前八時平井元外七名ハ是等職工約
五百名ヲ代表シテ退職届ヲ提出シ手当金ノ支払ヲ要求シタルニ事並未
主ノ協定条件ニ及スルヲ以テ日野國明ノ計ニ提出スル極言台ノ之ヲ拒絶シ
タリ

之ニ因シ調停者並ニ本件干渉ノ主ナル者モ就未ク後應シタルモ平井等ハ頑
強ニ主張シ其之由天朝日倶本部ニ約五百名集合セリ仍チ大野龍一花
要領人津波ヲ率シ來リテ友愛合理事杉岡駒吉ハ諸君ノ一時ニ退職スルハ
時節極宜シカラサル故可成就職シテハ如何ト復論不所アリタリ
二十二日以後ノ記者未職工数カノ他ノ

日	本工場	分工場	計
二十二日	二七九	四五六	七三五
二十三日	二九六	六七〇	九六六
二十四日	三七〇	九七八	一三四八
二十五日	四一八	一五二	一六七〇

(六月廿五日)

廿五日朝日倶本部ニ集合セリ去就未定ノ藤永田職工等ハ更ニ五名ノ代表者ヲ選ビ
杉岡駒吉ト共ニ同日午後七時日野國明ノ紹介ヲ得テ前野芳造ヲ訪テ六月廿二日
以反同日迄ノ給料ノ支払ヲ懇願シタル前野ハ工場主側立場者ト協議ノ上四
答スヘキヲ答ヘタルニ同ハ之ヲ諒トシ其後引取りタリ

然ルニ再度ノ交渉ト杉岡ノ努力ノ結果全職工ハ無条件ニテ就職スルユトナリ
二十六日午前八時朝日倶本部ニ集合ノ職工約三百名ハ本社ニ復職ノ
手續ヲ為シツアリ廿七日ヨリ就職ノ差ナリ
藤永田造船所ニ於ケル廿六日ノ出勤人員タノ如シ